

JAPAN AERONAUTIC ASSOCIATION

平成17年11月24日

NEWS RELEASE

財団法人日本航空協会

No. 115

TEL03-3502-1201 FAX03-3503-1375



2006 栃木熱気球世界選手権

組織委員会が発足



11月24日、宇都宮市内のホテルにおいて、来年11月に開催される「2006 栃木熱気球世界選手権」組織委員会の発会式が行われ、栃木県や宇都宮市、茂木町等の地方自治体、(財)日本航空協会や、日本気球連盟の代表等約20名が出席した。

熱気球世界選手権は、ローザンヌに本部を置く国際航空連盟 (FAI) が公認する国際競技会で、2年に一度開催され、来年の大会は第17回大会となる。大会会期は来年11月18日～26日で、30～40カ国から約66機の気球が参加し、チームクルーと役員を合わせ約520名の参加が見込まれている。競技会場は栃木県茂木町と周辺市町村、空域は茂木町周辺50km四方の空域、メイン・ロンチサイトはツインリンクもてぎサーキット内、開会式や前夜祭会場には宇都宮市が予定されている。

日本で気球が飛行してから35年、本格的な熱気球国際大会が始まってから20年、昨年オーストラリアで開催された世界選手権では日本選手2名が上位入賞しており、来年の大会では日本人初の世界チャンピオン誕生も期待されている。

日本での熱気球世界選手権開催は1989年と1997年の佐賀県佐賀市での開催以来3回目、関東地区での世界選手権開催は、熱気球のみならず航空スポーツ大会としては初めてである。茂木町周辺では1999年以来毎年11月に「MOTEGI 熱気球インターナショナルチャンピオンシップ」が開催されているが、山並みが連なる複雑な地形が生み出す様々な風を使ったハイレベルな競技会として知られており、毎年世界ランキング上位の選手が多数参加している。こうした実績が認められ、世界選手権招致が実現したものである。

なお、今年の大会はツインリンクもてぎを中心とする地域で現在開催中であり、競技飛行は今週末の11月27日朝まで行われる。

このニュースに関するお問い合わせ：

(財)日本航空協会 03-3502-1203

茂木町役場 0285-63-5625

ジャパンバルーンサービス 042-394-9078